



平成21年度 上半期業績のお知らせ

三井住友海上メットライフ生命保険株式会社（本社：東京都中央区、社長：樋口 幸男）の平成21年度上半期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の業績についてお知らせいたします。

【収入保険料】

今上半期の収入保険料は、金融危機以降の個人年金保険市場への影響を受け、2,618億円と前年度同期比18.3%減少しました。（グラフ1参照）

【契約の状況】

今上半期末の保有契約高は運用環境の好転等を背景に前年度末から17.8%増加し、2兆9,195億円となりました。保有契約件数は377千件と前年度末から9.7%増加となり、着実な伸びとなっております。

（グラフ2参照）

【損益の状況】

生命保険会社の本業における収益力を示す基礎利益は、前年同期比55億円増加して23億円の黒字となりました。また、今上半期の純利益（税引後）は運用環境の好転等により、前年同期比227億円増加し、128億円となりました。

【健全性の指標】

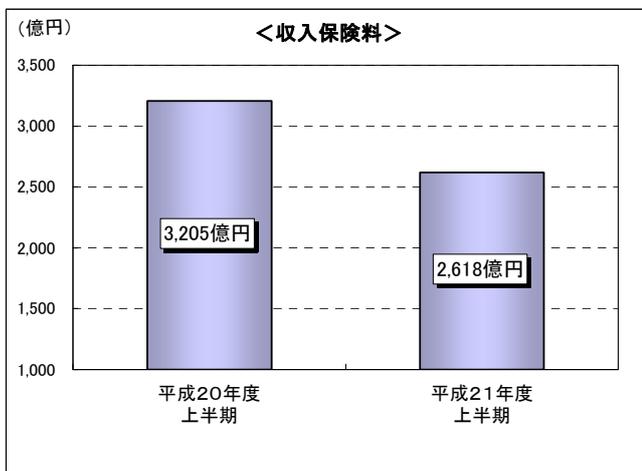
ソルベンシー・マージン比率は941.8%と、十分な支払余力を維持しています。

また、格付会社からは引き続き高い格付けを取得しています。

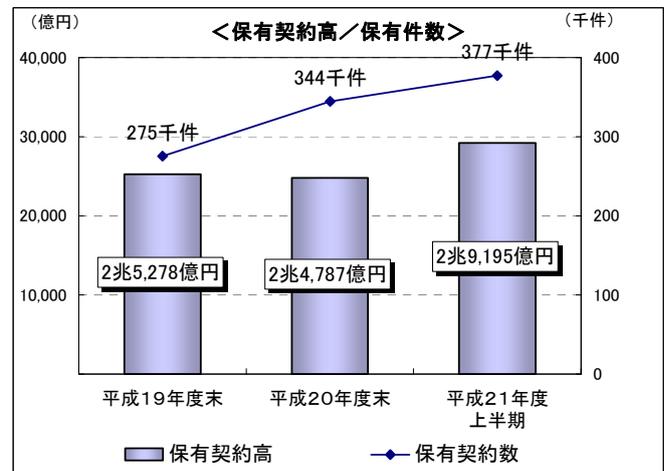
当社の格付け（平成21年11月19日現在）

スタンダード・アンド・プアーズ（S&P）	保険財務力格付け	AA
格付投資情報センター（R&I）	保険金支払能力格付け	AA

（グラフ1）



（グラフ2）



平成21年度 第2四半期(上半期) 業績の概要

(単位:件、百万円)	平成20年度 上半期	平成21年度 上半期	前年同期比	平成20年度	前年度末比
1. 契約の状況					
新契約件数	36,497	37,029	101.5%	77,122	
新契約高	307,254	240,758	78.4%	592,936	
保有契約件数	307,299	377,821	122.9%	344,480	109.7%
保有契約高	2,614,234	2,919,525	111.7%	2,478,765	117.8%
2. 資産・負債の状況					
総資産	2,605,721	2,918,044	112.0%	2,470,766	118.1%
責任準備金	2,572,048	2,854,733	111.0%	2,417,446	118.1%
資本金および資本準備金	45,395	65,795	144.9%	65,795	100.0%
3. 収支の状況					
収入保険料	320,542	261,828	81.7%	619,261	
保険金・年金・給付金	31,106	35,401	113.8%	64,456	
解約返戻金・その他返戻金	25,323	17,634	69.6%	38,537	
責任準備金等繰入額(△戻入額)	69,805	437,957	627.4%	△ 86,104	
資産運用損益	△ 173,204	278,584	-	△ 549,540	
事業費	25,780	19,741	76.6%	49,404	
税引前当期純利益(△純損失)	△ 15,569	20,221	-	△ 13,926	
法人税等合計	△ 5,698	7,343	-	△ 4,996	
当期純利益(△純損失)	△ 9,870	12,878	-	△ 8,929	
4. 基礎利益					
基礎利益(保険業法113条償却前)	955	6,555	686.2%	△ 2,012	
保険業法113条償却額	△ 4,247	△ 4,247	100.0%	△ 8,494	
基礎利益	△ 3,291	2,308	-	△ 10,506	
キャピタル損益	△ 9,397	22,263	-	△ 24,728	
臨時損益	△ 2,467	△ 4,079	165.3%	21,582	
経常損益	△ 15,157	20,492	-	△ 13,652	
5. ソルベンシー・マージン比率					
ソルベンシー・マージン総額	125,454	151,323		116,483	
リスクの合計額	28,544	32,132		31,926	
ソルベンシー・マージン比率	878.9%	941.8%		729.6%	

平成21年度第2四半期（上半期）報告

三井住友海上メットライフ生命保険株式会社（社長 樋口 幸男）の平成21年度第2四半期（上半期、平成21年4月1日～平成21年9月30日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	……	1頁
2. 一般勘定資産の運用状況	……	3頁
3. 資産運用の実績（一般勘定）	……	4頁
4. 中間貸借対照表	……	8頁
5. 中間損益計算書	……	9頁
6. 中間株主資本等変動計算書	……	10頁
7. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	14頁
8. 債務者区分による債権の状況	……	15頁
9. リスク管理債権の状況	……	15頁
10. ソルベンシー・マージン比率	……	16頁
11. 特別勘定の状況	……	17頁
12. 保険会社及びその子会社等の状況	……	17頁
（添付）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況		

以上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成21年度 第2四半期（上半期）末				平成20年度末	
	件 数	金 額		件 数	金 額	
		前年度 末比	前年度 末比			
個 人 保 険	9	99.2	1,105	102.1	9	1,082
個 人 年 金 保 険	368	110.0	28,089	118.5	334	23,705
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については保険料積立金）と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：千件、億円)

区分	平成20年度 第2四半期（上半期）				平成21年度 第2四半期（上半期）					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加			前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個 人 保 険	1	140	140	—	0	6.6	5	3.7	5	—
個 人 年 金 保 険	35	2,932	2,932	—	36	104.8	2,402	81.9	2,402	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については契約時の保険料積立金）です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成21年度 第2四半期 (上半期) 末		平成20年度末
		前年度 末比	
個 人 保 険	9,810	102.2	9,601
個 人 年 金 保 険	520,168	98.9	526,087
合 計	529,978	98.9	535,689
うち医療保障・ 生前給付保障等	96	117.4	82

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 第2四半期 (上半期)	平成21年度 第2四半期 (上半期)	
			前年 同期比
個 人 保 険	1,274	43	3.4
個 人 年 金 保 険	172,261	136,838	79.4
合 計	173,536	136,882	78.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	1	0	7.7

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

(3) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 第2四半期 (上半期)	平成21年度 第2四半期 (上半期)	
			前年 同期比
保 険 料 等 収 入	321,394	265,404	82.6
資 産 運 用 収 益	20	278,863	1391694.2
保 険 金 等 支 払 金	65,613	63,217	96.3
資 産 運 用 費 用	173,224	278	0.2

(4) 総資産

(単位：百万円、%)

区 分	平成21年度 第2四半期 (上半期) 末		平成20年度末
		前年度 末比	
総 資 産	2,918,044	118.1	2,470,766

2. 一般勘定資産の運用状況

(1) 運用環境

平成 21 年 9 月 30 日現在の主要指標及び前決算期末との比較は以下のとおりです。

国内株式市場：	日経平均株価	10,133.23 円	(前決算期末比 +24.95%)
	TOPIX 配当込み	1,119.67	(前決算期比 +18.39%)
国内債券市場：	日本 10 年国債利回り	1.301%	(前決算期末 1.353%)
外国株式市場：	MSCI コクサイ (現地通貨ベース)	3,748.783	(前決算期末比 +36.27%)
外国債券市場：	米国 10 年国債利回り	3.305%	(前決算期末 2.663%)
外国為替市場：	円/米ドル	90.21 円	(前決算期末比 ▲8.16%)
	円/ユーロ	131.27 円	(前決算期末比 +1.45%)
	円/豪ドル	78.96 円	(前決算期末比 +17.83%)

(2) 運用方針

当社一般勘定資産におきましては、安全性と中長期的な安定収益の確保を基本方針とし、債券を中心とした運用を行っております。邦貨建及び外貨建の定額個人年金保険の運用に関しましては、ALM (資産負債総合管理) の観点から、為替リスク・金利リスク・信用リスク等に十分留意した上で内外債券への投資を行っております。

(3) 運用実績の概況

平成 21 年 9 月末における一般勘定資産残高は 4,560 億円となり、前年度末比で 792 億円の増加となりました。

うち外貨建資産は、外貨建て定額個人年金契約の増加により前年度末より 992 億円増加し、残高は 3,599 億円となっております。

また、平成 21 年度上半期の資産運用収益は 31,185 百万円、資産運用費用は 278 百万円となりました。

3. 資産運用の実績（一般勘定）

(1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	平成21年度 第2四半期（上半期）末		平成20年度末	
	金額	占 率	金額	占 率
現預金・コールローン	37,009	8.1	35,561	9.4
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	372,161	81.6	284,120	75.4
有 価 証 券	784	0.2	931	0.2
公 社 債	783	0.2	931	0.2
株 式	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—
その他の証券	0	0.0	0	0.0
貸付金	757	0.2	694	0.2
不動産	478	0.1	568	0.2
繰延税金資産	16,809	3.7	24,148	6.4
その他	28,080	6.2	30,850	8.2
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	456,082	100.0	376,876	100.0
うち外貨建資産	359,945	78.9	260,731	69.2

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

(2) 資産の増減

(単位：百万円)

区 分	平成20年度 第2四半期（上半期）	平成21年度 第2四半期（上半期）
現預金・コールローン	5,138	1,448
買現先勘定	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—
買入金銭債権	—	—
商品有価証券	—	—
金銭の信託	31,902	88,041
有 価 証 券	394	△147
公 社 債	394	△147
株 式	—	—
外 国 証 券	—	—
公 社 債	—	—
株 式 等	—	—
その他の証券	△0	0
貸付金	34	63
不動産	256	△90
繰延税金資産	5,705	△7,339
その他	△5,787	△2,769
貸倒引当金	—	—
合 計	37,644	79,205
うち外貨建資産	34,663	99,214

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

(3) 資産運用収益

(単位：百万円)

区 分	平成20年度 第2四半期（上半期）	平成21年度 第2四半期（上半期）
利息及び配当金等収入	20	13
預貯金利息	11	0
有価証券利息・配当金	4	4
貸付金利息	4	8
不動産賃貸料	—	—
その他利息配当金	—	—
商品有価証券運用益	—	—
金銭の信託運用益	—	30,934
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	—	—
国債等債券売却益	—	—
株式等売却益	—	—
外国証券売却益	—	—
その他	—	—
有価証券償還益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	236
その他運用収益	—	—
合 計	20	31,185

(4) 資産運用費用

(単位：百万円)

区 分	平成20年度 第2四半期（上半期）	平成21年度 第2四半期（上半期）
支払利息	38	32
商品有価証券運用損	—	—
金銭の信託運用損	8,316	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	—
国債等債券売却損	—	—
株式等売却損	—	—
外国証券売却損	—	—
その他	—	—
有価証券評価損	—	—
国債等債券評価損	—	—
株式等評価損	—	—
外国証券評価損	—	—
その他	—	—
有価証券償還損	—	0
金融派生商品費用	—	—
為替差損	93	—
貸倒引当金繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
賃貸用不動産等減価償却費	—	—
その他運用費用	156	245
合 計	8,604	278

(5) 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	平成21年度 第2四半期（上半期）末		平成20年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	348,534	24,913	255,510	△31,536

(注) 本表には、「金銭の信託」等の売買目的有価証券を含みます。

(6) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

(単位：百万円)

区 分	平成21年度第2四半期（上半期）末					平成20年度末				
	帳簿価額	時 価	差損益			帳簿価額	時 価	差損益		
			うち差益	うち差損				うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	24,393	24,411	17	17	△0	29,527	29,542	15	15	△0
公 社 債	768	783	14	14	—	920	931	10	10	—
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	1	0	△0	—	△0	1	0	△0	—	△0
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	23,623	23,626	3	3	—	28,605	28,610	4	4	—
合 計	24,393	24,411	17	17	△0	29,527	29,542	15	15	△0
公 社 債	768	783	14	14	—	920	931	10	10	—
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	1	0	△0	—	△0	1	0	△0	—	△0
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	23,623	23,626	3	3	—	28,605	28,610	4	4	—

(注) 「金銭の信託」のうち売買目的有価証券以外のものを含み、その帳簿価額、差損益は以下の通りです。

平成21年度上半期	帳簿価額	23,623 百万円	差損益	3 百万円
平成20年度	帳簿価額	28,605 百万円	差損益	4 百万円

なお、時価のない有価証券はありません。

(7) 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区 分	平成21年度第2四半期（上半期）末					平成20年度末				
	貸借対照表 計上額	時 価	差損益			貸借対照表 計上額	時 価	差損益		
				うち差益	うち差損				うち差益	うち差損
金銭の信託	372,161	372,161	—	—	—	284,120	284,120	—	—	—

・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	平成21年度第2四半期（上半期）末		平成20年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益
運用目的の 金銭の信託	348,534	24,913	255,510	△31,536

・満期保有目的・責任準備金対応・その他の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	平成21年度第2四半期（上半期）末					平成20年度末				
	帳簿価額	時 価	差損益			帳簿価額	時 価	差損益		
				うち差益	うち差損				うち差益	うち差損
満期保有目的の 金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応の 金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の金銭の信託	23,623	23,626	3	3	—	28,605	28,610	4	4	—

4. 中間貸借対照表

(単位: 百万円、%)

期別 科目	平成20年度中間会計期間末 (平成20年9月30日現在)		平成21年度中間会計期間末 (平成21年9月30日現在)		平成20年度末貸借対照表 (平成21年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)						
現金及び預貯金	35,173	1.3%	41,103	1.4%	43,339	1.8%
預貯金	35,173	1.3%	41,103	1.4%	43,339	1.8%
金銭の信託	201,852	7.7%	372,161	12.8%	284,120	11.5%
有価証券	2,307,758	88.6%	2,460,692	84.3%	2,087,038	84.5%
国債	923	0.0%	783	0.0%	931	0.0%
その他の証券	2,306,834	88.5%	2,459,909	84.3%	2,086,107	84.4%
貸付金	404	0.0%	757	0.0%	694	0.0%
保険約款貸付	404	0.0%	757	0.0%	694	0.0%
有形固定資産	790	0.0%	738	0.0%	882	0.0%
建物	615	0.0%	478	0.0%	568	0.0%
リース資産	24	0.0%	176	0.0%	195	0.0%
その他の有形固定資産	149	0.0%	83	0.0%	117	0.0%
無形固定資産	3	0.0%	197	0.0%	25	0.0%
ソフトウェア	-	-	115	0.0%	-	-
リース資産	3	0.0%	82	0.0%	25	0.0%
再保険	-	-	733	0.0%	720	0.0%
その他の資産	34,885	1.3%	24,850	0.9%	29,795	1.2%
未収金	2,779	0.1%	1,717	0.1%	1,806	0.1%
前払費用	46	0.0%	142	0.0%	122	0.0%
未収収益	7	0.0%	10	0.0%	8	0.0%
預託金	1,203	0.0%	1,203	0.0%	1,203	0.0%
仮払金	1,119	0.0%	541	0.0%	1,173	0.0%
保険業法第113条繰延資産	29,729	1.1%	21,235	0.7%	25,482	1.0%
繰延税金資産	24,852	1.0%	16,809	0.6%	24,148	1.0%
資産の部合計	2,605,721	100.0%	2,918,044	100.0%	2,470,766	100.0%
(負債の部)						
保険契約準備金	2,579,495	99.0%	2,862,009	98.1%	2,424,052	98.1%
支払準備金	7,446	0.3%	7,276	0.2%	6,605	0.3%
責任準備金	2,572,048	98.7%	2,854,733	97.8%	2,417,446	97.8%
代理店借	3,413	0.1%	2,234	0.1%	4,288	0.2%
再保険借	1,531	0.1%	1,260	0.0%	872	0.0%
その他の負債	15,704	0.6%	12,702	0.4%	14,765	0.6%
借入金	5,000	0.2%	5,000	0.2%	5,000	0.2%
未払法人税等	3	0.0%	4	0.0%	8	0.0%
未払金	2,041	0.1%	1,875	0.1%	3,410	0.1%
未払費用	2,114	0.1%	1,833	0.1%	2,691	0.1%
預り金	71	0.0%	70	0.0%	68	0.0%
リース債務	28	0.0%	262	0.0%	222	0.0%
仮受金	6,445	0.2%	3,655	0.1%	3,364	0.1%
価格変動準備金	432	0.0%	462	0.0%	293	0.0%
負債の部合計	2,600,577	99.8%	2,878,669	98.7%	2,444,271	98.9%
(純資産の部)						
資本金	30,860	1.2%	41,060	1.4%	41,060	1.7%
資本剰余金	14,535	0.6%	24,735	0.8%	24,735	1.0%
資本準備金	14,535	0.6%	24,735	0.8%	24,735	1.0%
利益剰余金	△40,250	△1.5%	△26,431	△0.9%	△39,309	△1.6%
その他利益剰余金	△40,250	△1.5%	△26,431	△0.9%	△39,309	△1.6%
繰越利益剰余金	△40,250	△1.5%	△26,431	△0.9%	△39,309	△1.6%
株主資本合計	5,144	0.2%	39,363	1.3%	26,485	1.1%
その他有価証券評価差額金	0	△0.0%	11	0.0%	9	0.0%
評価・換算差額等合計	0	△0.0%	11	0.0%	9	0.0%
純資産の部合計	5,143	0.2%	39,375	1.3%	26,495	1.1%
負債及び純資産の部合計	2,605,721	100.0%	2,918,044	100.0%	2,470,766	100.0%

5. 中間損益計算書

(単位: 百万円、%)

科目	期別	平成20年度中間会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)		平成21年度中間会計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)		平成20年度損益計算書 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	
		金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
経常収益		324,675	100.0%	546,912	100.0%	717,122	100.0%
保険料等収入		321,394	99.0%	265,404	48.5%	623,327	86.9%
保険料		320,542	98.7%	261,828	47.9%	619,261	86.4%
再保険収入		852	0.3%	3,575	0.7%	4,065	0.6%
資産運用収益		20	0.0%	278,863	51.0%	162	0.0%
利息及び配当金等収入		20	0.0%	13	0.0%	39	0.0%
預貯金利息		11	0.0%	0	0.0%	21	0.0%
有価証券利息・配当金		4	0.0%	4	0.0%	7	0.0%
貸付金利息		4	0.0%	8	0.0%	10	0.0%
金銭の信託運用益		-	-	30,934	5.7%	-	-
為替差益		-	-	236	0.0%	123	0.0%
特別勘定資産運用益		-	-	247,678	45.3%	-	-
その他経常収益		3,260	1.0%	2,645	0.5%	93,633	13.1%
年金特約取扱受入金		3,230	1.0%	2,627	0.5%	7,479	1.0%
責任準備金戻入額		-	-	-	-	86,104	12.0%
その他の経常収益		29	0.0%	17	0.0%	49	0.0%
経常費用		339,832	104.7%	526,420	96.3%	730,775	101.9%
保険金等支払金		65,613	20.2%	63,217	11.6%	120,368	16.8%
保険金		14,525	4.5%	17,018	3.1%	32,692	4.6%
年金		8,191	2.5%	14,391	2.6%	18,999	2.6%
給付金		8,389	2.6%	3,991	0.7%	12,765	1.8%
解約返戻金		24,198	7.5%	16,735	3.1%	36,233	5.1%
その他の返戻金		1,124	0.3%	898	0.2%	2,303	0.3%
再保険料		9,183	2.8%	10,181	1.9%	17,374	2.4%
責任準備金等繰入額		69,805	21.5%	437,957	80.1%	466	0.1%
支払準備金繰入額		1,307	0.4%	671	0.1%	466	0.1%
責任準備金繰入額		68,498	21.1%	437,286	80.0%	-	-
資産運用費用		173,224	53.4%	278	0.1%	549,702	76.7%
支払利息		38	0.0%	32	0.0%	79	0.0%
金銭の信託運用損		8,316	2.6%	-	-	21,060	2.9%
有価証券償還損		-	-	0	0.0%	-	-
為替差損		93	0.0%	-	-	-	-
その他運用費用		156	0.0%	245	0.0%	301	0.0%
特別勘定資産運用損		164,620	50.7%	-	-	528,261	73.7%
事業費用		25,780	7.9%	19,741	3.6%	49,404	6.9%
その他経常費用		5,407	1.7%	5,225	1.0%	10,833	1.5%
税		1,070	0.3%	867	0.2%	2,136	0.3%
減価償却費		90	0.0%	111	0.0%	202	0.0%
保険業法第113条繰延資産償却費		4,247	1.3%	4,247	0.8%	8,494	1.2%
経常利益		△15,157	△4.7%	20,492	3.7%	△13,652	△1.9%
特別利益		-	-	-	-	40	0.0%
価格変動準備金戻入額		-	-	-	-	40	0.0%
特別損失		412	0.1%	270	0.0%	314	0.0%
固定資産等処分損		314	0.1%	102	0.0%	314	0.0%
価格変動準備金繰入額		97	0.0%	168	0.0%	-	-
税引前中間(当期)純利益		△15,569	△4.8%	20,221	3.7%	△13,926	△1.9%
法人税及び住民税		3	0.0%	4	0.0%	8	0.0%
法人税等調整額		△5,702	△1.8%	7,338	1.3%	△5,005	△0.7%
法人税等合計		△5,698	△1.8%	7,343	1.3%	△4,996	△0.7%
中間(当期)純利益		△9,870	△3.0%	12,878	2.4%	△8,929	△1.2%

6. 中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	平成20年度 中間会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	平成21年度 中間会計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	平成20年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
株主資本			
資本金			
前期末残高	30,860	41,060	30,860
当中間期(当期)変動額			
新株の発行			10,200
当中間期(当期)変動額合計			10,200
当中間期(当期)末残高	30,860	41,060	41,060
資本剰余金			
資本準備金			
前期末残高	14,535	24,735	14,535
当中間期(当期)変動額			
新株の発行			10,200
当中間期(当期)変動額合計			10,200
当中間期(当期)末残高	14,535	24,735	24,735
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
前期末残高	△ 30,379	△ 39,309	△ 30,379
当中間期(当期)変動額			
当中間期(当期)純利益	△ 9,870	12,878	△ 8,929
当中間期(当期)変動額合計	△ 9,870	12,878	△ 8,929
当中間期(当期)末残高	△ 40,250	△ 26,431	△ 39,309
株主資本合計			
前期末残高	15,015	26,485	15,015
当中間期(当期)変動額			
新株の発行			20,400
当中間期(当期)純利益	△ 9,870	12,878	△ 8,929
当中間期(当期)変動額合計	△ 9,870	12,878	11,470
当中間期(当期)末残高	5,144	39,363	26,485
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金			
前期末残高	3	9	3
当中間期(当期)変動額			
株主資本以外の項目の当中間期(当期)変動額(純額)	△ 4	1	5
当中間期(当期)変動額合計	△ 4	1	5
当中間期(当期)末残高	△ 0	11	9
純資産合計			
前期末残高	15,018	26,495	15,018
当中間期(当期)変動額			
新株の発行			20,400
当中間期(当期)純利益	△ 9,870	12,878	△ 8,929
株主資本以外の項目の当中間期(当期)変動額(純額)	△ 4	1	5
当中間期(当期)変動額合計	△ 9,874	12,879	11,476
当中間期(当期)末残高	5,143	39,375	26,495

注記事項

(中間貸借対照表関係)

平成21年度中間会計期間末

1. 有価証券（金銭の信託において信託財産として運用している有価証券を含む）はすべて時価のあるものであり、売買目的有価証券については時価法（売却原価の算定は移動平均法）、その他有価証券については9月末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価の算定は移動平均法）によっております。なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。
2. 有形固定資産の減価償却の方法は、次の方法によっております。
 - ・建物附属設備及びその他の有形固定資産（リース資産以外）
 - ①平成19年3月31日以前に取得したもの 旧定率法によっております。
 - ②平成19年4月1日以降に取得したもの 定率法によっております。
 - ・リース資産 リース期間に基づく定額法によっております。

なお、その他の有形固定資産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っております。
3. 無形固定資産の減価償却の方法
 - ・ソフトウェア 利用可能期間に基づく定額法によっております。
 - ・リース資産 リース期間に基づく定額法によっております。
4. 外貨建資産及び負債は9月末日の為替相場により円換算しております。
5. 貸倒引当金は、資産の自己査定基準および償却・引当基準に則り、次のとおり計上することとしております。

破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者（以下「破綻先」という）に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者（以下「実質破綻先」という）に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上することとしております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下「破綻懸念先」という）に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上することとしております。上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を計上することとしております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行うこととしております。ただし、上記の手続きにて査定した結果、全額回収可能と判断しましたので計上しておりません。
6. 役員賞与引当金は、役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当中間期末において発生したと認められる額を、未払費用に含めて計上しております。
7. 価格変動準備金は、保険業法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。
8. リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引またはリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
9. 消費税および地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。
10. 責任準備金は、保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の方式により計算しております。
 - (1) 標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式（平成8年大蔵省告示第48号）。
 - (2) 標準責任準備金の対象とならない契約については、平準純保険料式。ただし、特別勘定にかかる保険料積立金については、保険業法施行規則69条第4項第3号に定める方式。

11. 有形固定資産の減価償却累計額は379百万円であります。
12. 特別勘定の資産の額は2,465,183百万円であります。なお、負債の額も同額であります。
13. 保険業法第113条繰延資産の償却額の計算は、定款の規定に基づき行っております。
14. 繰延税金資産の総額は24,489百万円、繰延税金負債の総額は7,680百万円であります。
繰延税金資産の発生の主な原因別内訳は、繰越欠損金18,764百万円、保険契約準備金4,104百万円、減価償却超過額918百万円であります。
繰延税金負債の発生の主な原因別内訳は、保険業法第113条繰延資産7,673百万円であります。
15. 当中間期における法定実効税率は36.2%であり、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異の主要な内訳は、永久差異0.1%であります。
16. 保険業法施行規則第73条第3項において準用する同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する支払備金（以下「出再支払備金」という。）の金額は4,735百万円であり、同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金（以下「出再責任準備金」という。）の金額は386,713百万円であります。
17. 借入金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金5,000百万円を含んでおります。
18. 外貨建資産の額は359,945百万円であります。
（外貨額 1,413百万米ドル、2,925百万豪ドル、17百万ユーロ）
外貨建負債の額は351,904百万円であります。
（外貨額 1,414百万米ドル、2,829百万豪ドル、13百万ユーロ）
19. 保険業法第259条の規定に基づく保険契約者保護機構に対する当中間期末における当社の今後の負担見積額は8,548百万円であります。なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。
20. 1株当たりの純資産額は2,951,938円19銭であります。

注記事項

(中間損益計算書関係)

平成21年度中間会計期間

1. 金銭の信託運用益には、評価益が24,913百万円含まれております。
2. 支払備金繰入額の計算上、差し引かれた出再支払備金繰入額の金額は1,578百万円、責任準備金繰入額の計算上、足し上げられた出再責任準備金戻入額の金額は63,688百万円であります。
3. 1株当たりの中間純利益は998,321円70銭であります。なお、潜在株式はありません。

(中間株主資本等変動計算書関係)

平成21年度中間会計期間

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前期末 株式数	当中間期 増加株式数	当中間期 減少株式数	当中間期末 株式数
発行済株式				
普通株式	12,900	—	—	12,900
議決権制限普通株式	259	—	—	259
合計	13,159	—	—	13,159

7. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成20年度 第2四半期 (上半期)末	平成21年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度末
基礎利益 A	△3,291	2,308	△10,506
キャピタル収益	3,965	22,677	7,139
金銭の信託運用益	-	22,440	-
売買目的有価証券運用益	-	-	-
有価証券売却益	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	236	123
その他キャピタル収益	3,965	-	7,015
キャピタル費用	13,363	413	31,867
金銭の信託運用損	13,270	-	31,867
売買目的有価証券運用損	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-
有価証券評価損	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-
為替差損	93	-	-
その他キャピタル費用	-	413	-
キャピタル損益 B	△9,397	22,263	△24,728
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△12,689	24,571	△35,234
臨時収益	-	-	21,582
再保険収入	-	-	-
危険準備金戻入額	-	-	21,582
その他臨時収益	-	-	-
臨時費用	2,467	4,079	-
再保険料	-	-	-
危険準備金繰入額	2,467	4,079	-
個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
貸付金償却	-	-	-
その他臨時費用	-	-	-
臨時損益 C	△2,467	△4,079	21,582
経常利益（損失） A+B+C	△15,157	20,492	△13,652

1. 基礎利益には、次の金額が含まれております。

	平成20年度 第2四半期 (上半期)末	平成21年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度末
金銭の信託運用益のうちインカムゲイン部分	4,953	8,494	10,806
定額年金保険の負債にかかる評価部分調整額	△3,965	413	△7,015

2. その他キャピタル収益には、次の金額が含まれております。

	平成20年度 第2四半期 (上半期)末	平成21年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度末
定額年金保険の負債にかかる評価部分調整額	3,965	-	7,015

3. その他キャピタル費用には、次の金額が含まれております。

	平成20年度 第2四半期 (上半期)末	平成21年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度末
定額年金保険の負債にかかる評価部分調整額	-	413	-

8. 債務者区分による債権の状況

(単位：百万円)

区 分	平成21年度 第2四半期(上半期)末	平成20年度末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	—	—
危険債権	—	—
要管理債権	—	—
小計	—	—
(対合計比)	(—)	(—)
正常債権	765	699
合計	765	699

- (注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 要管理債権とは、3カ月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3カ月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸付金(注1及び2に掲げる債権を除く。)、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(注1及び2に掲げる債権並びに3カ月以上延滞貸付金を除く。)です。
4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、注1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

9. リスク管理債権の状況

該当ありません。

10. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成21年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	151,323	116,483
資本金等	18,128	1,003
価格変動準備金	462	293
危険準備金	11,068	6,989
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	15	13
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	120,648	106,183
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	1,000	2,000
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	32,132	31,926
保険リスク相当額 R1	24	47
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	20	21
予定利率リスク相当額 R2	2,414	2,209
資産運用リスク相当額 R3	9,367	9,261
経営管理リスク相当額 R4	937	931
最低保証リスク相当額 R7	19,412	19,522
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	941.8 %	729.6 %

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています)。

2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いております。

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	平成21年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度末
(1)資産の部に計上されるべき金額の合計額	2,918,044	2,470,766
(2)負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額	2,746,484	2,330,799
実質資産負債差額 (1)－(2)	171,560	139,967

(注) 上記は、保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令および平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づいて算出しております。

1 1. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	平成21年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		100,385		86,435
個人変額年金保険		2,364,797		2,013,363
団体年金保険		—		—
特別勘定計		2,465,183		2,099,798

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位：千件、百万円)

区 分	平成21年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	—	—	—	—
変額保険(終身型)	9	110,531	9	108,206
合 計	9	110,531	9	108,206

・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区 分	平成21年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	296	2,368,249	277	2,017,011
合 計	296	2,368,249	277	2,017,011

1 2. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

(添付)

2009年11月19日

三井住友海上メットライフ生命保険株式会社

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

三井住友海上メットライフ生命保険株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：樋口 幸男）は、金融安定化フォーラム（FSF）の報告書に示された先進的開示例に基づき、平成21年9月末時点の証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況についてご報告いたします。

なお、以下に記載の実現損益は、平成21年4月～9月の損益です。

【投資状況】

1. 特別目的事業体（SPEs）一般 （単位：億円）

	時 価	含み損益	実現損益
特別目的事業体（SPEs）一般	—	—	—

2. 債務担保証券（CDO）一般 （単位：億円）

	時 価	含み損益	実現損益
債務担保証券（CDO）	—	—	—

3. その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー （単位：億円）

	時 価	含み損益	実現損益
その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー	—	—	—

4. 商業用不動産担保証券（CMBS） （単位：億円）

	格 付	時 価		含み損益	実現損益
			参考:平成21年3月末		
商業用不動産担保証券（CMBS）		198.9	184.2	—	20.2
日本		—	—	—	—
米国		195.7	178.6	—	19.5
	AAA	167.6	178.3	—	18.1
	AA	8.1	0.3	—	0.2
	A	20.1	—	—	1.2
	BBB以下	—	—	—	—
欧州		—	—	—	—
豪州		3.1	5.5	—	0.7
	AAA	3.1	5.5	—	0.7
	AA	—	—	—	—
	A	—	—	—	—
	BBB以下	—	—	—	—
その他		—	—	—	—

- 裏付資産は米国及び豪州の商業用不動産（オフィス、商業施設、倉庫、賃貸住宅、ホテル等）です。

- ・ 上記は売買目的有価証券に区分しているため、評価損益はすべて実現損益に含まれますので、含み損益はありません。なお、上記の実現損益のうち、当年度の現地通貨ベースでの評価損益は 37.0 億円、為替の変動に係る評価損益は△17.4 億円です。(当該資産は外貨建て定額年金保険に対応する運用資産の一部であり、ALM 上、資産側と負債側の通貨をマッチングさせていることから為替に係る評価損益は相殺される構造となっており、当年度損益への大きな影響はありません。)

5. レバレッジド・ファイナンス

(単位：億円)

	時 価		含み損益	実現損益
		参考：平成21年3月末		
レバレッジド・ファイナンス	—	—	—	—

6. その他

(単位：億円)

	格 付	時 価		含み損益	実現損益
			参考：平成21年3月末		
その他		124.2	129.7	—	△5.4
US ABS (カードローン・自動車ローン担保等)		124.2	129.7	—	△5.4
	AAA	124.2	128.2	—	△5.4
	AA	—	—	—	—
	A	—	1.4	—	0.0
	BBB以下	—	—	—	—

- ・ サブプライムローン関連のエクスポージャーはございません。
- ・ 上記は売買目的有価証券に区分しているため、評価損益はすべて実現損益に含まれますので、含み損益はありません。なお、上記の実現損益のうち、当年度の現地通貨ベースでの評価損益は 7.1 億円、為替の変動に係る評価損益は△12.4 億円です。(当該資産は外貨建て定額年金保険に対応する運用資産の一部であり、ALM 上、資産側と負債側の通貨をマッチングさせていることから為替に係る評価損益は相殺される構造となっており、当年度損益への大きな影響はありません。)

※上記の時価の金額は、当社の貸借対照表上の「金銭の信託」に含まれている金額です。

※上記の実現損益の金額は、当社の損益計算書上の「金銭の信託運用益」に含まれている金額です。

※投資信託については開示対象から除いております。